

- 4 参加資格 (1) 所属学校長又は保護者の承諾がある者。
 (2) 競技ごとに定める学年に在籍している者（以下参照）
- アルペン Kids-1 2016年4月2日生～2018年4月1日生
 (小学1.2年生)
 Kids-2 2014年4月2日生～2016年4月1日生
 (小学3.4年生)
- ※なお、K-1 カテゴリーについては、第58回全日本スキー連盟公認甲信越ブロック連合中学校・ユーススキー競技会開催要項よりお申し込みください。
- クロスカントリー 小学1.2年生の部 2016年4月2日生～2018年4月1日生
 (小学1.2年生)
 小学3.4年生の部 2014年4月2日生～2016年4月1日生
 (小学3.4年生)
 小学5.6年生の部 2012年4月2日生～2014年4月1日生
 (小学5.6年生)
 中学生の部 2009年4月2日生～2012年4月1日生
 (中学1.2.3年生)
- (3) 責任者又は付添者が引率していること。
 (4) スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険に加入していること。
 (5) スキーにおける危険や防止法等を熟知（学習）していること。
 ※別添「スノースポーツ競技者の心得」を参照
- 5 参加人員の制限 リレー競技については、各学校2チーム以内とする。
 1チームの人数は、中学生、小学生とも男女各3名以内、計6名以内とする。
 ※リレー種目の申込が必要。
- 6 申込方法 (1) 申込締切 2025年3月12日（水）必着
 (2) 申込先 〒381-0498 長野県下高井郡山ノ内町大字平穏 3352-1
 教育委員会事務局 志賀高原少年スキー大会事務局宛
 TEL 0269-38-0373 / Email sports@town.yamanouchi.lg.jp
 (3) 申込方法 本大会所定様式によりメールまたは郵送にて申し込んでください。
 (3) 申込用紙 ・別紙様式により申し込む。
 ※学校別、男女別ごとに記入すること。
 ・参加料振込確認票、振込が確認できるもの（振込通知書の写し等）を必ず添付してください。
 (4) 参加料 1人1種目 アルペン競技 Kids-1、Kids-2 レースは2,300円
 クロス競技 小学生2,300円、中学生2,800円
 リレー競技 小学生2,800円、中学生3,300円
 【振込先：ながの農業協同組合 志賀高原支所
 (普) 6229409 志賀少年スキー大会事務局】

(5) その他 申込みの不備、遅延申込み、FAX での申し込みは一切受け付けない。
また、参加料の返金はしない

- 7 抽 選 2025年3月17日(月) 大会事務局において責任をもって行う。
- 8 表 彰 (1) 各種目第3位まで表彰状及び商品を授与し、6位まで表彰状を授与する。
(2) 表彰式は競技終了後、競技会場(ゴールエリア付近)で行う。
(3) 長野県 Kids-2 レースシーズン戦の表彰について
・男女3位までを表彰する。表彰については、本大会レース終了後に行う。
- 9 宿 泊 (1) 1泊2食付 税込9,500円(選手のみ) ※引率者及び帯同者は10,500円
※入湯税別
(2) 宿泊については、各学校・団体ごとに志賀高原観光協会の予約システムから申し込む。
(宿泊予約システム URL <https://resv.shigakogen.gr.jp/feature/shonenski2025/>)
志賀高原観光協会事務局 TEL 0269-34-2404)
(3) 宿泊予約システム以外からの予約をした参加者については、競技の際スタートを認めないことがあります。
- 10 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症対策については(公財)全日本スキー連盟が定めるガイドラインに準ずる。
(2) アルペン競技出場者はヘルメットを着用のこと。
(3) リフト券は個人負担とする。
(4) クロスカントリ5km、3km、1.5km 競技はクラシカルテクニック、リレー競技はフリーテクニックとする。
(5) アルペン同順位の場合は、スタート順序の後走者を優位とする。
(6) 競技規則は、本大会に定められているものの他、全日本スキー連盟競技規則(最新版)による。

ENTRY FORM
エントリーフォーム

Competition (Name/Category) 競技会 (名称/カテゴリー)	第68回志賀高原少年スキー大会
Association 所属県連名/所属	/

COMPETITORS 競技選手							
L <input type="checkbox"/> M <input type="checkbox"/>							
Code 選手コード	Surname First Name ふりがな 氏名	Birth 生年月日 (西暦)	Discipline 種目	GS Kids-1 3/30	GS Kids-2 3/30	SL Kids-2 3/31	Arrival date to JAPAN 過去一ヶ月以内の 帰国日
			Race date AGE 競技日 年齢				

同行役員等 (OFFICIALS)		
職分 (Function)	氏名 (Name)	電話番号 (Telephone) & E-mail メール連絡を行う場合があります。
チームキャプテン		
宿舎名 (Lodging)		

Responsible for entry エントリー責任者	Address · Telephone 連絡先住所 · 電話番号	
記入日 (Date)		

競技選手の氏名はふりがなを必ずご記入ください。
メールで連絡をする場合がありますのでチームキャプテンのメールアドレスをご記入ください。
出場する種目に✓マークをご記入ください。

第68回志賀高原少年スキー大会（アルペン）参加申込書 兼 出場許可書

出場種目 (該当ヶ所に○)	男子・女子	(Kids-1・Kids-2)	GS ・ SL		
チーム内 ランキング	ふり 氏	がな 名	学 年	生 年 月 日 (西暦)	摘 要
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
				年 月 日	
各項目は楷書で正確に記入してください。(間違いのある場合は受付できません) K-1・K-2競技は別様式です。(全日本スキー連盟指定の様式)					<div style="text-align: right;">学校名 _____ 都道府県 _____ 学校 _____</div> <div style="text-align: right;">所在地 〒 _____ 市・郡 _____</div> <div style="text-align: right;">連絡先 TEL _____ FAX _____</div> <div style="text-align: right;">大会中滞在期間 3月 _____ 日から3月 _____ 日 ・ 宿泊先 _____</div> <p>記入上の注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必ず学校別にて申込むこと。 2. 参加申込書兼出場許可書の他、参加料振込確認表も必ず提出すること。 3. 種目、学年ごとに参加申込書兼出場許可書を作成すること。(男女別) 低い学年から記入し、種目ごとにランクを記入すること。(ランク上位の選手から記入) 4. 10名を超える場合は用紙をコピーすること。 <p style="text-align: center;">出 場 許 可</p> <p>左記の生徒について、標記大会に参加することを保護者が同意しており、また、心身の発達段階からみて、意義のある大会と認めますので出場を許可します。 また、大会参加にあたっての健康管理は自己(学校長又は保護者)の責任において行い主催者側に対して一切迷惑をかけません。</p> <p style="text-align: right;">令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: right;">(該当ヶ所に○) 学校長・責任者 氏名 _____ 印</p> <p style="text-align: center;">申 込 み 責 任 者</p> <p style="text-align: right;">令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: right;">責任者氏名 _____</p> <p style="text-align: right;">住 所 〒 _____ 市・郡 _____</p> <p style="text-align: right;">連絡先 携帯 _____ FAX _____</p>

第68回志賀高原少年スキー大会（クロス） 参加申込書 兼 出場許可書

出場種目 (該当ヶ所に○)	小学生	男子	・クロスカントリー (小学生は1.2年・3.4年・5.6年ごと) ・リレー Aチーム・Bチーム			学校名 _____	都道府県 _____	学校 _____
	中学生	女子				所在地 〒 _____	市・郡 _____	
ランク	ふり 氏	がな 名	学年	生年月日	摘要	連絡先 TEL _____ FAX _____		
				H 年 月 日		大会中滞在期間 3月 日から 3月 日 ・ 宿泊先 _____		
				H 年 月 日		記入上の注意 1. <u>必ず学校別にて申込むこと。</u> 2. 参加申込書兼出場許可書の他、参加料振込確認表も必ず提出すること。 3. 種目ごとに参加申込書兼出場許可書を作成すること。(男女別) <u>小学生クロスカントリーは2学年ごとに、ランクを記入すること。</u> (1枚の用紙に2学年毎に分けて全学年分記入も可) <u>ランク上位の選手から記入</u> <u>をすること。</u> ※従来お願いしていた個人申込書は不要といたしました。 4. リレーを2組申込む学校は別々の申込書を使用しA・Bチームを明記すること。 (選手が重複しないようにすること。1組のみの場合、Aに○をしない。)		
				H 年 月 日				
				H 年 月 日				
				H 年 月 日				
				H 年 月 日				
				H 年 月 日				
				H 年 月 日				
				H 年 月 日				
出 場 許 可						令和 年 月 日		
左記の生徒について、標記大会に参加することを保護者が同意しており、また、心身の発達段階からみて、意義のある大会と認めますので出場を許可します。また、大会参加にあたっての健康管理は自己(学校長又は保護者)の責任において行い主催者側に対して一切迷惑をかけません。						(該当ヶ所に○) 学校長・責任者 氏名(自署) _____ 印		
申 込 み 責 任 者						令和 年 月 日		
責任者氏名 _____						住所 〒 _____ 市・郡 _____		
連絡先 携帯 _____						FAX _____		

第68回志賀高原少年スキー大会

参加料振込確認票

都道府県名		学校名	
申込責任者		携帯TEL	

【アルペン】

期日	種目	参加者数	参加料計
3/30	Kids-1男子GS		
	Kids-1女子GS		
	Kids-2男子GS		
	Kids-2女子GS		
3/31	Kids-2男子SL		
	Kids-2女子SL		
合 計			

【クロス】

期日	種目	参加者数	参加料計
3/24	中学生男子		
	中学生女子		
	小学生男子		
	小学生女子		
3/25	中学生リレー		
	小学生リレー		
合 計			

※参加料 ・アルペン・クロス 小学生 2,300円 ・クロス小学生リレー 2,800円
 ・クロス 中学生 2,800円 ・クロス中学生リレー 3,300円

※参加料振込票のコピーを添付してください。

スノースポーツ競技者の心得

1. スノースポーツに内在する危険

スノースポーツには内在する以下の危険がある。

- ① 降雪・吹雪・降雨・濃霧など天候に伴う危険
※ホワイトアウト（天候の具合で雪面の高低や凹凸が分かりにくい状況）を含む
- ② 崖・急斜面・溝・沢など地形に伴う危険
- ③ アイスバーン・深雪・クレバス・雪崩など雪質や雪面の状態による危険
※ツリーウェル（樹木の傍に空いた深い穴）、ツリーホール（春先など雪解けにともない樹木のまわりに露出した地面）なども含む
- ④ 立木・切り株・茂み・岩石・露出した地表・水路など自然の障害物による危険
- ⑤ リフト支柱・人工降雪設備・標識・ロープ・マットなど人工の工作物との衝突による危険
- ⑥ 雪上車両との衝突の危険
- ⑦ スノーパークの利用に伴う危険
- ⑧ スキーヤーのスピードの出し過ぎによる危険
- ⑨ 自己転倒による危険
- ⑩ 他のスキーヤーとの衝突による危険
- ⑪ 疲労・飲酒・薬物・体調不良による危険
- ⑫ 不適切な用具の使用などによる危険
- ⑬ その他、これらに類する危険

2 スキーヤーの責務

1 滑走にあたって

- (1) スキーヤーはスノースポーツに内在する危険を予測し、危険を回避しながら滑走しなければならない。
- (2) スキーヤーは常に視界のおよぶ範囲内で動き、いつでも止まったり曲がったりできなければならない。

2 リフト搭乗にあたって

- (1) リフト搭乗者とは、リフトに搭乗しているスキーヤーだけではなく、搭乗するために待機しているスキーヤーや搭乗し終えたばかりのスキーヤーを含む。
- (2) リフト搭乗者は、掲示板の注意書等を読み、これに従って搭乗しなければならない。

- (3) 搭乗に不安を感じるスキーヤーは、その旨を係員に申し出て、必要な援助を得なければならない。

3 標識・指示の遵守

- (1) スキーヤーは、スキー場にある標識・掲示や場内放送、コースマップに記載されている注意書・警告、パトロール等スキー場係員の指示に従って行動しなければならない。

4 禁止行為

スキーヤーは以下の行為をしてはならない。

- ① コース外を滑走すること
- ② 閉鎖中のコースに立ち入ったり、滑走したりすること
- ③ 立木・リフト支柱・人工降雪設備・ネット・ロープ・マットなどの間近を滑走すること
- ④ 他のスキーヤーの間近を滑走すること
- ⑤ 他のスキーヤーの滑走を妨げること
- ⑥ 圧雪車(ゲレンデ整備車)を含む全ての雪上車両に近づくこと
- ⑦ リフトの運行を妨げること
- ⑧ 飲酒や薬物等の影響により、心身が正常でない状態で滑走すること
- ⑨ 長時間コース内で立ち止まったり座り込んだりすること
- ⑩ その他、これらに類する行為

5 徐行義務

スキーヤーは、以下の状況の下では徐行しなければならない。

- ① 徐行の標識があるところ
- ② 地形や障害物で、前方が見えにくいところ
- ③ シーズン初めや春先など積雪が十分でないとき
- ④ 降雪・吹雪・濃霧・日没時などで視界が悪いとき
- ⑤ ホワイトアウト（天候の具合で雪面の高低や凹凸が分かりにくい状況）のとき
- ⑥ 立木・切り株・茂み・岩石・露出した地表・水路など自然の障害物に近づいたとき
- ⑦ リフト支柱・人工降雪設備・ネット・ロープ・マットなどの人工の工作物に近づいたとき
- ⑧ コースの合流地点やコースが狭いところ
- ⑨ コースの脇や末端に近づいたとき
- ⑩ リフトの乗り場や降り場に近づいたとき
- ⑪ コースが混雑しているとき
- ⑫ キッズエリア（子供用ゲレンデ）に近づいたとき

- ⑬ 業務のために出動しているパトロールや運行している雪上車両に近づいたとき
- ⑭ その他、徐行しないと危険な箇所を滑走するとき

6 滑走時の義務

- (1) 滑り出し・流入・横断のときは、上方からのスキーヤーを優先させる。
- (2) 滑走中は前方のスキーヤーの動向を注視し、前方のスキーヤーとの間に安全な距離を保つ。
- (3) ゲレンデ内で立ち止まって、登り・降りをするときは、コースの端を利用する。
- (4) 業務のために出動しているパトロールや運行している雪上車両があるときは、その運行を優先させ、進路を空けて停止または徐行する。
- (5) スキーヤーは流した滑走具で他の人に危害を与えないよう用具に流れ止めをつける。
- (6) 深雪を滑走する際には、万が一雪に埋まった場合に呼吸の確保が出来るように予めストックの手皮から手を外しておく。また、ツリーウェルに落ち込まないよう大木の間近を滑走しない。

7 スノーパーク利用上の義務

スノーパークの滑走者は次のことを守らなければならない。

- (1) 掲示板などの注意書に従う。
- (2) 自らの能力と技術の範囲内で滑走する。
- (3) 着地点の周囲の安全を確認してからスタートする。
- (4) ヘルメットその他必要な防具を着用する。

8 引率者・指導者の責務

- (1) 引率者・指導者とは、個人やグループまたは団体をスキー場に案内し、スキーヤーを指導・監督・介護する者をいう。
- (2) 引率者・指導者は、この基準に定めるルールを率先して守らなければならない。
- (3) 指導者は受講者に滑る技術を教えるだけでなく、この基準に定めるルールおよび安全に滑走する方法も指導しなければならない。
- (4) 指導にあたっては天候や雪質・コースの状況等を考慮したうえ、受講者に不適切な課題を課して、雪崩などの重大な危険に遭わせてはならない。

9 受講者の責務

- (1) 受講者はスキー場において他のスキーヤーに対して何の優先権も持たない。
- (2) 受講者は引率者・指導者の指示や注意に従うだけでなく、自らこの基準が定めるルールを守って行動しなければならない。

10 子供の保護者・付添人の責務

- (1) 保護者・付添人は子供の能力を見極め、子供を危険に遭わせてはならない。
- (2) 保護者・付添人は子供に対して、スキー場で守るべきルールについて教えなければならない。

11 競技者

- (1) 競技者とは、現に競技に参加しているスキーヤーだけでなく、競技に参加するために練習をしているスキーヤーや競技前の足慣らしをしているスキーヤーも含む。

12 救助義務

- (1) 事故が起きた場合、全てのスキーヤーは事故者を援助しなければならない。
- (2) 事故の当事者および目撃者は、速やかに事故の発生状況をパトロール員などスキー場係員に通報するとともに、怪我人の救助に協力しなければならない。
- (3) 事故の当事者および目撃者は、パトロール員などスキー場係員や当事者の求めに応じて、事故状況および氏名・連絡先などを正確に伝えなければならない。

13 搜索費用の負担

スキーヤーがスキー場管理者の規制を無視してコース外や管理区域外に出て遭難したときは、スキーヤーは搜索および救助に要した費用を負担しなければならない。

14 ヘルメット・帽子の着用

- (1) スキーヤーはヘルメット・スキー帽を着用することが望ましい。
- (2) アルペン競技者（練習中も含む）はヘルメットを着用しなければならない。

15 保険加入の勧め

スキーヤーは事故に備えて、あらかじめ傷害保険等に参加しておくこと。